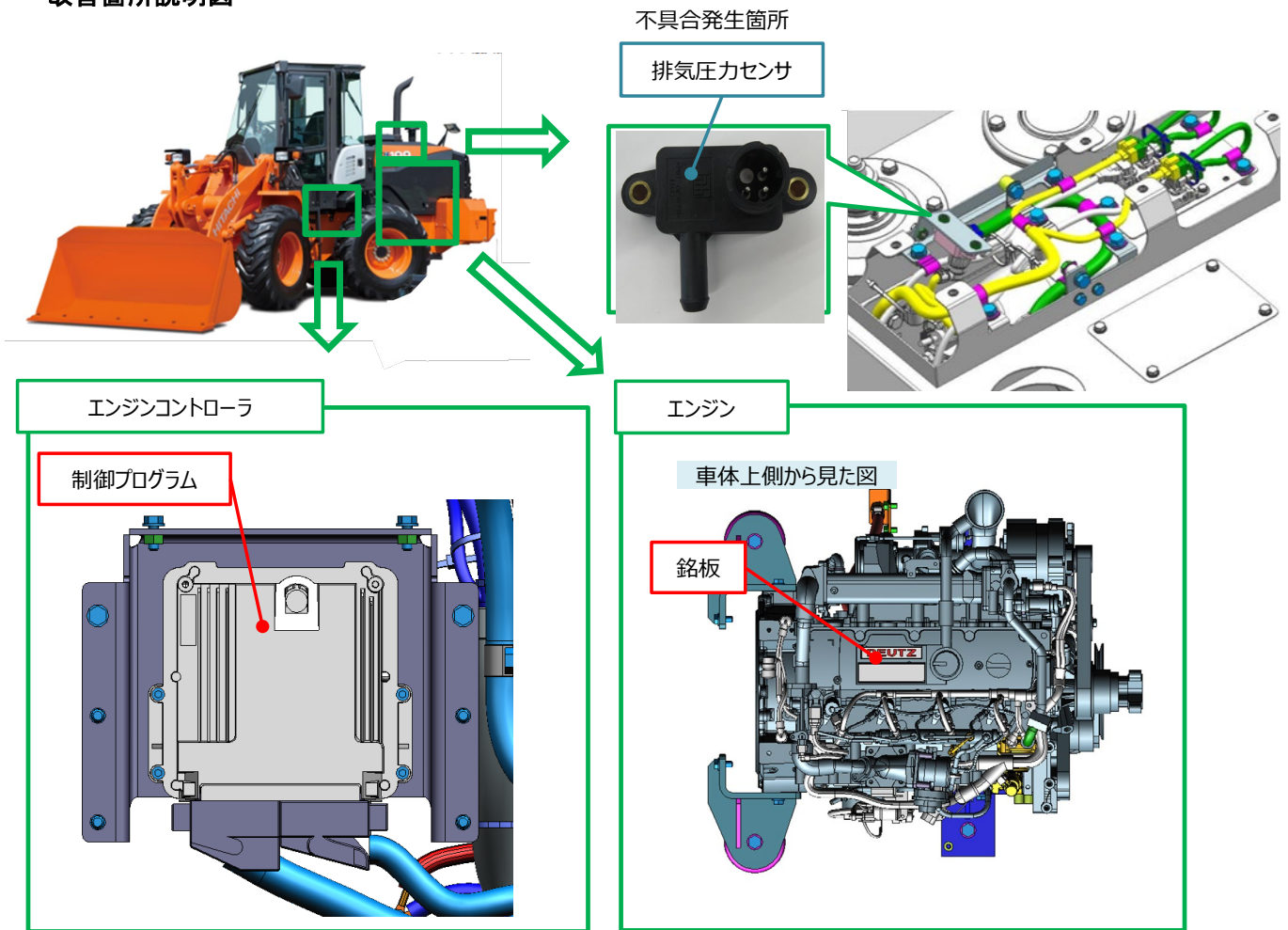


改善箇所説明図



注: は改善部品を示す。

不具合発生箇所の構造、装置又は性能の状況及びその原因

ショベル・ローダの排気ガス後処理装置(尿素SCRシステム)において、低温環境下で、排気ガス中の水分が排気管内部圧力を測定する排気圧力センサの圧力検知部で結露し、凍結することがある。このため、排気管内部の圧力を誤検知し、警告灯が点灯することがある。そのままの状態で使用を続けると、フェールセーフ制御となり、原動機の出力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、エンジンコントローラの制御プログラムを対策プログラムに変更する。あわせて、エンジン銘板も貼りかえる。

識別: キャブ下のエンジンコントローラカバーに黒色ペイントにてマーキングを行う。

